

特別企画展

小泉八雲

Lafcadio Hearn

と

The Manyōshū

万葉集

令和7年 9月18日(木) ~ 12月1日(月) 火曜日休館

記念講演会「ラフカディオ・ハーンと万葉集」

11月3日(月・祝) 午後2時~3時30分

講師：中島淑恵氏(富山大学教授)

聴講料無料 定員120人 ※要観覧料

※聴講希望の方は、事前に電話でお申込ください

高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11
電話:0766-44-5511 FAX:0766-44-7335

開館時間 4月~10月：午前9時~午後6時 11月~3月：午前9時~午後5時 ※入館は閉館の45分前まで

観覧料 一般…300円、中学生以下…無料、65歳以上…240円、団体(20名以上)…240円

雪女のイラスト：佐竹美保(中脇初枝『ゆきおんな』小学館より)

※9月23日(火・祝)は開催し、翌9月24日(水)休館

特別企画展

小泉八雲

Lafcadio Hearn と The Manyoshu

万葉集

令和7年 9月18日(木)～12月1日(月) 火曜日休館

ギリシャに生まれ、アイルランド、イギリスで育ち、アメリカに渡った後に来日して日本の伝統文化や民話の魅力を海外に伝えた小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）。

この特別企画展では、小泉八雲とその妻のセツをモデルにした NHK 朝の連続テレビ小説「ばけげん」放映に合わせ、八雲とセツが泣きながら語り書いたという万葉集の多数の七夕歌をのせた随筆「天の河縁起」などを紹介しながら、八雲と万葉集のかかわりについて紐解いていきます。

さらに、小泉八雲が「怪談（Kwaidan）」で再話したことで知られる民話「雪女」を、『魔女の宅急便』のさし絵や、ジブリアニメ『アーヤと魔女』のキャラクター・舞台設定原案、当館プロジェクションマッピングのイラストも担当したさし絵作家佐竹美保氏による作品で紹介。秘蔵する未公開原画も含め、全作品をはじめて展示します。 ※原画は作品保護のため期間を分けて公開します。詳細はホームページ参照ください。

＊ 記念講演会 ＊

「ラフカディオ・ハーンと万葉集」

11月3日(月・祝)

午後2時～3時30分

講師：中島淑恵氏（富山大学教授）

聴講料無料 定員120人 ※要観覧料

※聴講希望の方は、事前に電話でお申込ください

＊ 関連イベント ＊



山口千代子制作の美しい衣装で万葉の歌世界を楽しもう！

万葉衣装体験

11月1日(土)～3日(月・祝) 午前9時～午後4時

＊ 衣装体験料 1回1名300円(受付は30分前まで) ※別途、観覧料が必要です



担当研究員によるギャラリートーク

＊ 10月4日(土) 午後2時～ ※高岡万葉まつり期間

＊ 11月3日(月・祝) 午後3時45分～ ※記念講演会終了後

＊ 11月30日(日) 午後4時10分～ ※学習講座終了後

◆最寄り駅JR氷見線 伏木駅から

【当館までの距離 約1.5km】徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から

【バス】高岡駅正面口（北口）4番のりば
加越能バス伏木方面（西回り）・伏木方面（東回り）の
いずれかに乗車（約30分）し「伏木の宮バス停」で
下車、徒歩約7分

【タクシー】約20分

※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の
間はバス便があります（1時間に数便程度・乗車時間約10分）

◆お車で

【能越自動車道】高岡北インターから約20分

高岡インターから約25分

【北陸自動車道】小杉インターから約35分

高岡砺波スマートインターから約35分



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11
電話：0766-44-5511 FAX：0766-44-7335

歴史館の最新情報、日々の出来事はXで 家持くん @manreki いけぬし君 @ikenushi おおいづめちゃん @oiratsume